



▲講座では、学び楽しむとともに、参加者同士の交流もできます。個人で、また、ご夫婦、お仲間同士でご参加ください。お住まいの地域に関係なく受講することもできます



▲平成7年に開講されて以来、14年目になる坊沢公民館のマンダリン講座。今では、愛好会として市内外での演奏会に出演するまでになっています



▲ハワイアン心地よい響きに乗って楽しく学んだ阿仁公民館のフラダンス講座。フラダンスの人気は高く、市内各地域から受講生が集まりました



▲趣味を広げ、楽しく教養を高める七座公民館の「七座八起(ななすわりやおき)講座」。今年は野草や山菜について知識を深め、交流を図りました



村上光秋さん(66)
本城字御嶽

「講座との出会いと潤い」

講座を受講し始めてから2年になりました。今では講座が生活の一部となり、カレンダーに記した丸印の受講日を楽しみに待っている生徒の一人です。

3年前の5月、組織社会を卒業し、

妻の生れ故郷である北秋田市へ老後の夢と安らぎを求め移り住みました。しかし、当初は落ち込むことも多かったのです。講座と出会ったのはそんなときでした。

秋が去り冬到来、生れて初めての冬囲い、そして毎日の降雪で除雪に苦勞しました。近所の人から「秋田へ来た歓迎の雪だよ」と笑顔で言われて嬉しいやら複雑な心境でした。後に35年ぶりの大雪と知りました。大雪のお陰で逆に落ち込みも薄れ、やがて春が訪れました。この頃には広報にも目が届く様になり、そんなある日、妻が広報を見て「この講座

を学んでみようかな。あなたも一緒にどう」、との誘い。このとき「そうだ」と答えたことが講座との出会い、学ぶきっかけとなりました。

受講1年目には『ハッピーライフ講座』、『ぶらり旅』。2年目は『グットライフ』、『ふるさと探訪』、『地域の歴史を学ぶ講座』を学んで日増しに目の前が明るくなりました。やがて市民の一人になれたような様な気がしています。毎日気持ちも潤い楽しんでいます。

このような講座をこれからも開催し市民の皆様にとって潤いある市に導いて下さればと望みます。



永井愛子さん(68)
坊沢字屋敷

「マンダリンは私の宝物」

夏の日の高い夕時に、開放されたホールの窓から今日もマンダリンの音色が響きわたります。

マンダリン講座は、平成7年に開講されて以来14年目になるとうとうあります。始まった頃は、楽器を手に

した事のない人たちがばかりで演奏に向くことなど考えてもいませんでしたが、今では市内外で年10回位の演奏活動を行うまでになっています。愛好会の今があるのは、すばらしい指導者に恵まれたからです。

講師の戸嶋弘文先生は、週2回の練習日、今日出来なくても明日があるかと励まし、勇気と希望を与えてくださいました。先生の根気と辛抱が物語る14年であったように思います。

長い道のりでしたが、マンダリン講座を通してたくさんの収穫を得ることが出来ました。また、活動の感動が次の原動力にもなっています。

技術を習得できたことはもちろんですが、地域との交流も深まり、仲間も増えました。節目のコンサートの際は、家族にも手伝わってもらいます。家族との絆が深まり、心の支えにもなっています。

仙台市の広瀬文化センターで孫と「千の風になつて」を共演したことも大きな思い出です。楽器の大好きな大先輩の一周忌に、自宅で追悼演奏会を開いたこともありました。

そんな思い出を胸に、まだまだ挑戦し続けたいと思っています。マンダリンは私の宝物です。



沢井静枝さん(65)
阿仁銀山字下新町

「はじめてのフラダンス」

2年程前から、どこかでフラダンス教室がないかと探していたので、今回のこの講座にすぐに申し込みました。

初日、胸をわくわくさせながら出掛けました。先生は若くて綺麗な方

です。秋田市からいらしたと聞いてびっくり！。受講者も北秋田市各地域から参加していました。

「先生、皆さんようこそ阿仁へー」。フラと講座を通じて知り合った仲間と会える、その日がとても楽しみでした。ハワイアン心地よい響きにつけてゆつくりと優雅に(私はまだまだですが)踊りました。

フラの動作は手話と似ているようなのですが、本当でした。古代ハワイには文字が無かったので表現の手段としてフラが用いられており、その動作一つ一つに意味があり、とても情緒的で情熱的です。

10回の講座で3曲習いましたが、どんどん魅了されました。また、先生のフラには本当にうっとりさせられました。

講座が終了してしまい、このままだとフラを忘れてしまいそうなので、寒い私の部屋にハワイアンを流し、思い出しながら体を動かしています。その時は常夏の雰囲気、幸せな気持ちになります。

フラと白石先生に出会えたことに感謝しています。雪が消えた頃、フラダンスがまた阿仁に戻ってきてほしいと願っています。



成田日登士さん(67)
今泉字根立場

「まさに『七座八起』」

身近に知らない生きていくのに覚えたいことがいっぱいある。七座公民館の『七座八起(ななすわりやおき)』は、七座の地名と四文字熟語の『七転八起』をかけた講座。これまで料理講習やニュースポーツ、市

内探訪など、趣味を広げ教養を高める活動を行ってきた。

一回ごとに違う知識や風土のしきたり、忘れかけた事柄など生きる力に役立つだろうと身の回りのことを主体に受講生みんなが意見交換する。いろいろ学習して最も印象に残っていることは、「自然に親しむ、山野草を知る」ことである。

道端に生えていて人に踏まれていく花の名前、食べられる野草にそっくりな毒草、この地で古くから食べられている山菜類の方言、例としてはクサソテツ(こごみ)、ウワバミソウ(ミズ)などと、講師が家から

公民館までの途中の草花を車にいっぱい積んで来てくれた。

講座では、学習して身につくもの、すぐ忘れてしまうものがあるが、「今日の講座は楽しかった、よかったな」との声が出る。

人それぞれ考え、感じ方が違っても、新しい自分を発見する。『七座八起』で自分の生き方をよりよいものにしたと思う。

